

# 平成30年度 第2回 藤枝市子ども・子育て会議

日時：平成30年8月27日（月）

13時30分～

場所：藤枝市役所西館5階 大会議室

所管：藤枝市健康福祉部児童課

## 議事次第

1 開会

2 委員長挨拶

3 健康福祉部長挨拶

4 出席委員確認及び議事内容確認

5 議事

### 【協議事項】

- (1) 第2期ふじえだ子ども・子育て支援事業計画策定に伴う市民ニーズ調査について
  - ニーズ調査について . . . . . P4
  - ニーズ調査設問設計概要 . . . . . P6
  - ニーズ調査票（案） . . . . . P12
  - 平成25年度に実施したニーズ調査内容 . . . . . P34
- (2) 地域型保育事業所の認可について . . . . . P37

### 【報告事項】

- (1) 病児保育事業の拡大について . . . . . P42
- (2) 平成31年度保育園等園児募集について . . . . . 別冊
- (3) 子育てフェスタの開催について . . . . . P43
- (4) 地域みっちゃく生活情報誌「ふじえ～ら」による子育て情報の発信について・P44
- (5) 「子育てするなら藤枝」の推進について（企業向け） . . . . . 別紙チラシ
- (6) 子どもの居場所づくり交流会について . . . . . 別紙チラシ

6 その他

次回：平成30年度 第3回藤枝市子ども・子育て会議

平成30年10月18日（木）10時30分

市役所西館5階 大会議室

# 藤枝市子ども・子育て会議委員名簿

選出区分毎、敬称略

※平成30年 4月 1日現在

No	選出区分	所属等	氏名	
1	1号	学校法人 新静岡学園 静岡産業大学教授	マツナガ ユミコ 松永 由弥子	学識経験者
2	1号	藤枝市立広幡小学校校長	ヤマシタ ユカ 山下 由花	校長会代表
3	1号	藤枝市教育委員	タキシタ エツヨ 瀧下 悦代	教育委員代表
4	2号	藤枝市保育協会 副会長	イトウ ナホコ 伊藤 菜穂子	保育協会代表
5	2号	藤枝託児ボランティアサークル 代表	サクラハ ミナコ 作原 美奈子	市民活動団体代表
6	2号	私立幼稚園・認定こども園協会	フカザワ タカシ 深澤 孝俊	私立幼稚園・認定こども園協会代表
7	2号	藤枝市立藤枝小学校区 ふじこ児童クラブ主任指導員	アンドウ ケイコ 安藤 恵子	社会福祉協議会推薦
8	3号	藤枝市社会福祉協議会 常務理事	オオシ シゲキ 大石 茂樹	社会福祉協議会代表
9	3号	藤枝市民生委員・児童委員協 議会児童福祉部会会長	ムラコシ ヒサオ 村越 久男	民生委員・児童委員協議会代表
10	3号	藤枝市青少年健全育成推進 会議会長	コバヤシ イチオ 小林 一男	青少年健全育成推進会議代表
11	4号	幼稚園児を持つ親代表	イナバ シュンリュウ 稲葉 俊隆	私立幼稚園・認定こども園協会推薦
12	4号	放課後児童クラブを利用する 親代表	イイ ケイコ 伊井 桂子	社会福祉協議会推薦
13	4号	保育園児を持つ親代表	オオシ エミ 大石 恵美	保育協会推薦
14	4号	藤枝商工会議所 副会頭	マツウラ マサアキ 松浦 正秋	商工会議所推薦
15	4号	志太地区労働者福祉協議会 幹事	フジイ アキヒロ 藤井 明浩	志太地区労働者福祉協議会推薦

1号委員 子ども・子育て支援に関し学識経験のある者

2号委員 子ども・子育て支援に関する事業に従事する者

3号委員 子ども・子育て支援に関する関係団体に所属する者

4号委員 その他市長が必要と認める者

## 事務局

健康福祉部長		オザワ カズナリ 小澤 一成	
児童課		子ども家庭課	
課長	ヤベハ フミコ 矢部 史子	課長	オカムラ ヒデシ 岡村 英志
子育て政策係長	ワラシナ シゲヒト 薬科 重人	家庭児童相談係長	ナカヤ ナジ 中谷 波路
子育て応援係長	ツジマ タカヨシ 津島 さおり	家庭児童相談担当係長	マスダ カツノリ 増田 勝紀
保育推進係長	ニシナ タカヨシ 仁科 敬義	子ども支援給付係長	サカベ 坂部 めぐみ
保育推進担当係長	シラサギ アケミ 白鷺 朱美	子ども発達支援センター	
		所長	イケガヤ イヅミ 池谷 いづみ
		発達支援係長	オオヌマ ミヤコ 大沼 都
事務局連絡先(子育て政策係)054-643-3246(直通) 054-643-3260(FAX) jido@city.fujieda.shizuoka.jp			

# 平成30年度 第2回藤枝市子ども・子育て会議席次表

深澤副委員長

松永委員長

○

○

--	--

山下委員 ○

瀧下委員 ○

伊藤委員 ○

作原委員 ○

安藤委員 ○

大石茂委員 ○


○ 村越委員

○ 小林委員

○ 稲葉委員

○ 伊井委員

○ 大石恵委員

○ 松浦委員

○ 藤井委員


--	--

○

○

○

○

主幹兼子育て政策係長

児童課長

健康福祉部長

子ども家庭課長

藁科

矢部

小澤

岡村

--	--

○

○

○

○

子育て応援係長

保育推進係長

保育推進担当係長

子ども発達支援センター所長

津島

仁科

白鷺

池谷

--	--

○

○

○

○

事務局

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

傍聴席

## 第2期ふじえだ子ども・子育て支援計画策定に伴う市民ニーズ調査について

### 【1 アンケート調査の概要】

幼児教育・保育施設、地域型保育事業及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の算出のための基礎データを得る。

(1) 調査対象

就学前の児童がいる世帯 2,000世帯

[ 3歳未満 1,000世帯 ]  
[ 3歳以上 1,000世帯 ]

(2) 調査項目

前回の調査項目を基に、国から発出予定の通達を踏まえた内容とする。

(3) スケジュール (予定)

	H30.8	H30.9	H30.10	H30.11	H30.12	H31.1	H31.2	H31.3
調査票案作成	●		●					
調査票完成			◆					
調査票調製				●	●			
調査期間				●	●			
回収・分析					●	●		
まとめ・報告						●	●	●
子ども・子育て会議	☆		☆					☆

### 【2 追加調査の概要 (放課後児童クラブ)】

(1) 追加調査対象

放課後児童クラブに入会している児童がいる全世帯 約600世帯

(2) 調査項目

前回の調査項目を基に、国から発出予定の通達を踏まえた内容とする。

(3) スケジュール (予定) (【1】の調査と同様)

### 【3 調査結果分析】

(1) 委託業者

(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 本社：京都市

(2) 委託期間

2018年8月から2020年3月31日まで

## 参考資料

### 《子ども・子育て支援法第61条》抜粋

- 1 市町村は、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画(以下「市町村子ども・子育て支援事業計画」という。)を定めるものとする。
- 2 市町村子ども・子育て支援事業計画においては、次に掲げる事項を定めるものとする。
  - 一 市町村が、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件、教育・保育を提供するための施設の整備の状況その他の条件を総合的に勘案して定める区域(以下「教育・保育提供区域」という。)ごとの当該教育・保育提供区域における各年度の特定教育・保育施設に係る必要利用定員総数(第十九条第一項各号に掲げる小学校就学前子どもの区分ごとの必要利用定員総数とする。)、特定地域型保育事業所(事業所内保育事業所における労働者等の監護する小学校就学前子どもに係る部分を除く。)に係る必要利用定員総数(同項第三号に掲げる小学校就学前子どもに係るものに限る。)その他の教育・保育の量の見込み並びに実施しようとする教育・保育の提供体制の確保の内容及びその実施時期
  - 二 教育・保育提供区域ごとの当該教育・保育提供区域における各年度の地域子ども・子育て支援事業の量の見込み並びに実施しようとする地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の内容及びその実施時期
  - 三 子ども・子育て支援給付に係る教育・保育の一体的提供及び当該教育・保育の推進に関する体制の確保の内容
- 3 市町村子ども・子育て支援事業計画においては、前項各号に規定するもののほか、次に掲げる事項について定めるよう努めるものとする。
  - 一 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保に関する事項
  - 二 保護を要する子どもの養育環境の整備、児童福祉法第四条第二項に規定する障害児に対して行われる保護並びに日常生活上の指導及び知識技能の付与その他の子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する都道府県が行う施策との連携に関する事項
  - 三 労働者の職業生活と家庭生活との両立が図られるようにするために必要な雇用環境の整備に関する施策との連携に関する事項
- 4 市町村子ども・子育て支援事業計画は、教育・保育提供区域における子どもの数、子どもの保護者の特定教育・保育施設等及び地域子ども・子育て支援事業の利用に関する意向その他の事情を勘案して作成しなければならない。
- 5 市町村は、教育・保育提供区域における子ども及びその保護者の置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村子ども・子育て支援事業計画を作成するよう努めるものとする。

### 《子ども・子育て支援法に基づく基本指針》抜粋

第三 3 (二) 市町村は、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成に当たり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者に対する調査等を行い、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みを推計し、具体的な目標設定を行うこと。

## 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査設問設計概要

○あて名のお子さんをご家族の状況について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問1	あて名のお子さんの①生年月、②③きょうだいのことについてご記入ください。	回答者の属性	記入	○	
問2	お住まいの地区をご記入ください。		記入	○	
問3	この調査票をご回答いただく方は、宛名のお子さんから見えてどなたですか。		単数	○	
問4	あて名のお子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。		単数	○	
問5	あて名のお子さんが一緒に住んでいる方はどなたですか。 近所に祖父母が住んでいますか。	家族構成の把握	複数	○	
	問5-1 同居・近居をしたきっかけは何ですか。	問5で「4」～「7」の該当者のみ きっかけの把握	複数		○
	問5-2 ご自身又は配偶者の親から受けている子育ての支援は何ですか	問5で「4」～「7」の該当者のみ 支援の把握	複数		○
問6	あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる方はいますか。	相談状況の把握	複数	○	
問7	あて名のお子さんの保護者の就労状況について、現在の状況と今後の就労希望をお答えください。	保護者の就労状況と今後の就労意向の把握	記入	△	

### 凡例

○…該当

△…回答方法を変更又は選択肢等の追加

○平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問8	あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。	教育・保育の利用状況の把握	単数	○	
	問8-1 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号に○を付け、選択肢の8を選んだ場合は、( )に数字を記入してください。	問8で「2」の該当者のみ 利用していない理由の把握	複数	○	
	問8-2 平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号に○を付けてください。現在の状況と希望する日数、時間を記入してください。	問8で「1」の該当者のみ 現在の利用状況と希望の日数、時間、場所の把握	複数	△	
	問8-3 現在、利用されている幼稚園や保育所等はどこにありますか。		単数	○	
	問8-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由について伺います。理由として当てはまる番号に○を付けてください。	問8で「1」の該当者のみ 利用している理由の把握	複数	○	
	問8-5 あなたのお住まいについて、お子さんの教育・保育事業の利用の可否を理由として市外から市内へ、または市内から市外へ転居を検討したことがありますか。	問8で「1」の該当者のみ	単数		○
	問8-6 現在、主に利用している教育・保育事業はどのくらい満足していますか。	子ども・子育て支援制度による心境変化を把握	単数		○
問8-7 主に利用している教育・保育事業に不満を感じている理由について教えてください。	複数			○	
問9	この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、保育園などを休んだことがありましたか。そのときの対処法などを教えてください。	問8で「1」の該当者のみ	複数	○	
	問9-1 あなたは、藤枝市で「病児・病後児保育」を実施していることはご存知でしたか。	病児・病後児保育の利用ニーズを把握	単数	△	
	問9-2 藤枝市の病児・病後児保育を利用しない理由は次のどれにあてはまりますか。		複数	△	

○平日に利用したい定期的な教育・保育事業について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 10	現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。 また、2019年10月より、幼児教育、保育の利用料が無償化されることが検討されていますが、無償化になった場合に利用したいと考える事業も合わせてお答えください。	教育・保育のニーズを把握 *無償化によるニーズもこの設問で把握する	記入	△	
問 11	あなたは、藤枝市に隣接する市町等、市外の保育所等を利用したいですか。		単数	○	
問 12	あて名のお子さんが病気やけがの際の対応として、あなたが考える対応の優先順位(第2位まで)の番号を回答欄にご記入ください。	病児・病後児保育の利用ニーズを把握	記入		○

○休日に定期的にご利用したい教育・保育事業について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 13	“土曜日、日曜日、祝日”の定期的な教育・保育事業の利用希望について、利用したい時間帯をお答えください(一時的な利用は除きます)。現在の利用の有無に関係なく、また実際に利用可能な時間帯に関係なくお答えください。	休日の教育・保育事業の利用意向の把握	単数 記入	○	
	問 13-1 毎週でなく、たまに利用したい理由は何ですか。	問 13 で「3」の該当者のみ	複数	○	
問 14	あて名のお子さんの夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい理由と時間帯をお答えください。	「幼稚園」に通園している方のみ 長期休暇(夏休み、冬休み)の幼稚園の利用意向の把握	単数 記入	○	



○お子さんの地域子育て支援事業の利用について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 15	あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援事業を利用していますか。また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を( )内に数字を記入してください。	地域子育て支援センターの利用状況の把握	単数記入	○	
問 16	上記のような地域子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を( )内に数字を記入してください。	地域子育て支援センターの利用意向の把握	単数記入	○	
問 17	下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。	事業の認知度、利用度。利用意向の把握	選択	△	

○お子さんの不定期の幼稚園・保育所等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 18	あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。1年間のおおよその利用日数も( )内に数字でご記入ください。	一時預かり等の利用状況の把握	複数記入	○	
問 19	あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。必要な日数も( )内に数字でご記入ください。	一時預かり等の利用意向の把握	複数記入	○	
問 20	この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。それぞれ日数も( )内に数字でご記入ください。	子育て短期支援事業のニーズ把握	複数記入	○	

○小学校就学後の放課後の過ごし方についてお伺いします【あて名のお子さんが5歳以上である方のみ】

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 21	あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。それぞれ○をつけた項目の週当たりの日数も( )内に数字でご記入ください。	放課後児童クラブ等の利用状況の把握	複数記入	△	
問 22	あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望についてお伺いします。それぞれ、A~Cの項目で該当する項目に丸を付けてください。それぞれ○をつけた項目ごとに希望する時間帯を( : )内に記入してください。	土日祝日等の放課後児童クラブの利用意向の把握	複数記入	○	

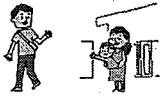
○育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度についてお伺いします。

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 23	あて名のお子さまが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。	育児休業制度、短時間勤務制度の利用状況の把握	単数	△	
	問 23-1 その方が短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。	問 23 で「4」の該当者のみ 利用しなかった理由の把握	複数	△	
	問 23-2 その方が離職した理由は何ですか。	問 23 で「5」の該当者のみ 離職した理由の把握	複数	△	
	問 23-3 その方が育児休業制度を利用しなかった理由は何ですか。	問 23 で「6」の該当者のみ 利用しなかった理由の把握	複数	△	

## ○子育て全般についてお伺いします

設問番号	設問	設問概要	回答方法	前回	新規
問 24	あなたは近所や地域の人とおつきあいはどの程度ですか。		複数		○
問 25	あなたは、藤枝市で子育てをされていて、地域で支えられていると感じますか。	地域における子育ての関わり方を把握	単数		○
問 26	あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり(ネットワークや団体)は必要だと思いますか。		単数		○
問 27	あなたは、あて名のお子さんが進学する際に感じる(感じた)不安はありますか。		進学時の不安を把握	単数	
問 28	藤枝市の子育て施策について、あなたの感じる「満足度」と「重要度」をお答えください。	地域子ども子育て支援事業の満足度と重要度を把握	単数		○
	最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。		記入	○	

(案)



## 子ども・子育て支援事業計画策定 に係るニーズ調査



日頃より、藤枝市政にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本市では、子育て支援の充実を図るため、平成27年度に「子ども・子育て支援事業計画スマイルプラン21」を策定し、策定から5年が経過する来年度に計画の踵しを行うこととしています。

つきましては、現在子育て中の皆様の子育て支援サービスの利用状況や今後の利用希望、また保護者の皆様の就労状況のほか、子育てに関するご意見、ご要望をお伺いし、計画に反映することを目的に、この調査を実施することとなりました。

ご回答いただいた調査内容は、市や国・県の幼児教育・保育・子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容が他に漏れたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。統計的に処理し、その結果を市のホームページで公表いたします。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成30年〇〇月 藤枝市長 北村 正平

### ◆ご回答の前にお読みください。

1. このアンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. お選びいただく選択肢の数が設問によって異なりますので、注意書きに従ってください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
6. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに〇月●日(●)までにポストにご投函ください。
7. このアンケートの結果については、平成31年4月以降に市ホームページにおいて公表する予定です。

### 【お問い合わせ先】

藤枝市健康福祉部児童課 子育て政策係 担当：藁科・神谷

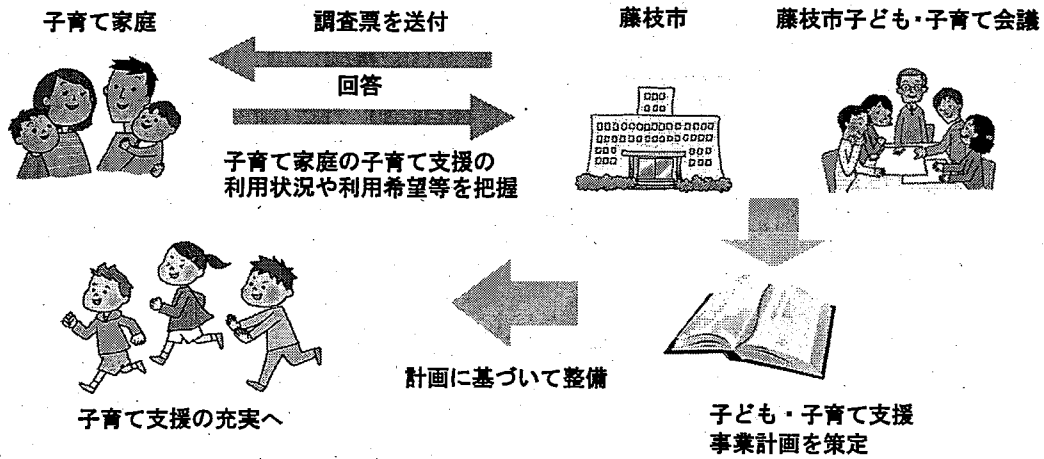
◆電話：054-643-3246（直通）

◆ファックス：054-643-3260

◆Eメール：jido@city.fujieda.shizuoka.jp



**皆様からいただいた回答は藤枝市の子育て支援の充実に活かします！**



**子ども・子育て支援制度**

- 子ども・子育て支援制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。

**(用語の定義)**

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設 (学校教育法第22条)
保育所	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
認定こども園	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設 (就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条)
小規模保育所 家庭的保育事業所	児童福祉法に定める保育を必要とする0～2歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第7条)
教育	幼稚園や認定こども園における幼児教育のこと。
子育て支援	教育・保育以外の子どもの健やかな成長のために行われる支援



## あて名のお子さんをご家族の状況について伺います

**問1** あて名のお子さんの①生年月、②③きょうだいのことについてご記入ください。

①生年月 (数字を記入)	平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月生まれ	②きょうだい数  <input type="text"/> 人	③末子の満年齢  平成30年4月1日現在 満 <input type="text"/> 歳
-----------------	---	---------------------------------------	---

※②あて名のお子さんを含んだ、すべての兄弟姉妹の人数です。

※③2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの満年齢をご記入ください。

**問2** お住まいの地区をご記入ください。

( ) 小学校区

\* 小学校区がわからない方は、お住まいの町名等をご記入ください

(例：水守 )

**問3** この調査票をご回答いただく方は、あて名のお子さんから見るとどなたですか。(1つに○)

- 1 父親                              2 母親                              3 その他 ( )

**問4** あて名のお子さんの子育てを主にしているのは、お子さんからみてどなたですか。(1つに○)

- 1 父母ともに                      3 主に父親                      5 その他 ( )  
 2 主に母親                          4 主に祖父母

**問5** あて名のお子さんが一緒に住んでいる方はどなたですか。

また、近所(30分以内程度に行き来できる範囲)に祖父母が住んでいますか。選択肢はあて名のお子さんから見ただけの関係です。(○はいくつでも)

父母	祖父母
1 父母と住んでいる	4 祖父と一緒に住んでいる
2 父と一緒に住んでいる(父子家庭)	5 祖母と一緒に住んでいる
3 母と一緒に住んでいる	6 祖父が近所に住んでいる
	7 祖母が近所に住んでいる
8 その他(自由記述 )	

「1」から「3」だけに○を付けた方

「4」から「7」に○を付けた方

問6へ

問5-1、問5-2へ

問5で「4」～「7」と答えた方のみ

**問5-1 同居・近居をしたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)**

- 1 自身又は配偶者と結婚前から引き続き同居・近居している
- 2 結婚をきっかけに同居・近居した
- 3 子どもの誕生をきっかけに同居・近居した
- 4 子どもの入学・進学をきっかけに同居・近居した
- 5 自身又は配偶者の就業をきっかけに同居・近居した
- 6 親の介護が必要になったため同居・近居した
- 7 自宅又は親の住宅の購入をきっかけに同居・近居した
- 8 その他(自由記述 )

問5で「4」～「7」と答えた方のみ

**問5-2 ご自身又は配偶者の親から受けている子育ての支援は何ですか。**

(〇はいくつでも)

- 1 子どもの相手・預かり (日常的に)
- 2 子どもの相手・預かり (急用などのとき)
- 3 子どもの送り迎え
- 4 教育やしつけの支援
- 5 家事の手伝い
- 6 金銭的な援助
- 7 物資での支援
- 8 ほとんどない
- 9 その他(自由記述 )

**問6 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる方はいますか。**



(〇はいくつでも)

- 1 ご自身や配偶者の親、兄弟姉妹
- 2 友人や知人
- 3 近所の人
- 4 幼稚園や保育所等の職員
- 5 行政機関の職員 (保健センター、子ども家庭相談センター等)
- 6 子育て支援センター等の子育てに関する施設の職員
- 7 民生委員・児童委員
- 8 かかりつけの医師
- 9 気軽に相談できる人はいない
- 10 その他(自由記述 )

◆次の問7は、(1)母親と(2)父親の回答欄がある設問があります。お手数ですが(1)(2)それぞれにお答えください。ひとり親家庭の方は(1)(2)のどちらかにお答えください。

問7 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。  
また、パート・アルバイト等で働いている方は今後の就労希望についてもお答えください。

※フルタイムとは週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはフルタイム以外の就労をいいます。  
※産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況をご記入ください。  
※就労日数が一定でない場合は最も多いパターンをご記入ください。  
※自宅で仕事をされている方の就労時間は仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

(1)母親の現状 (1~5のいずれか1つに○)		就業状況や希望 時刻は24時間制で記入(例 17 時台)	
		就業状況	就業状況や希望
1 フルタイムで働いている	→	①就労日数：	<input type="text"/> 日/週
		②平均就労時間(残業含む)：	<input type="text"/> 時間/日
		③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> 時台
		④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に斜線  をお願いします)	平日： <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> 時台
2 フルタイムだが 現在産休・育休・介護休業中	→	就業状況	フルタイムへの希望
3 パート・アルバイト等で働いている			
4 パート・アルバイト等だが 現在産休・育休・介護休業中	→	フルタイムへの希望	今後の就労意向
5 現在は仕事をしていない			
		ア 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
		イ 1年より先、一番下の子が <input type="text"/> 歳になったころに就労したい	
		ウ すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
		②希望する就労形態：(ア~イのいずれか1つに○)	
		ア フルタイム(週5日程度・1日8時間程度の就労)	
		イ パート・アルバイト等	
		→ <input type="text"/> 日/週・ <input type="text"/> 時間/日	



(2)父親の現状 (1～5のいずれか1つに○)		就業状況や希望 時刻は24時間制で記入(例 17 時台)		
				①就労日数： 日／週
1 フルタイムで働いている		就業状況	②平均就労時間（残業含む）： 時間／日	
2 フルタイムだが、 現在産休・育休・介護休業中			③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線 <input type="checkbox"/> をお願いします)	平日： <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> 時台
3 パート・アルバイト等で 働いている			④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線 <input type="checkbox"/> をお願いします)	平日： <input type="text"/> 時台 土日祝： <input type="text"/> 時台
4 パート・アルバイト等だが、 現在産休・育休・介護休業中			⑤フルタイムへの転換希望：(7～Iのいずれか1つに○)	
5 現在は仕事をしていない		フルタイムへの希望	<input type="checkbox"/> ア フルタイム希望で実現できる見込みがある <input type="checkbox"/> イ フルタイム希望だが実現見込はない <input type="checkbox"/> ウ パート・アルバイト等を継続希望 <input type="checkbox"/> エ やめて子育てや家事に専念したい	
			今後の就労意向	①今後の就労意向：(7～ウのいずれか1つに○)
		<input type="checkbox"/> ア 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） <input type="checkbox"/> イ 1年より先、一番下の子が <input type="text"/> 歳になったころに就労したい <input type="checkbox"/> ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい		
			②希望する就労形態：(7～Iのいずれか1つに○)	
			<input type="checkbox"/> ア フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） <input type="checkbox"/> イ パート・アルバイト等 → <input type="text"/> 日／週・ <input type="text"/> 時間／日	



## 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について伺います。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所等、問8-2の選択肢に示した事業が含まれます。

**問8** あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所等の「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(○は1つ)

1 利用している ⇒問8-2～8-7、問9へ

2 利用していない

問8で「2 利用していない」と答えた方のみ

**問8-1** 利用していない理由は何ですか。理由として当てはまる番号に○を付け、選択肢の8を選んだ場合は、( )に数字を記入してください。(○はいくつでも)

- 1 利用する必要がない
- 2 子どもの祖父母や親戚の人が見ている
- 3 近所の人や父母の友人・知人が見ている
- 4 利用したいが、教育・保育事業に空きがない
- 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
- 6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
- 7 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない
- 8 子どもがまだ小さいため (  ) 歳くらいになったら利用しようと考えている
- 9 その他(自由記述 )

⇒問10へ

問8で「1. 利用している」と答えた方のみ

問8-2 平日にどのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業について、当てはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)  
また、選択した事業でもっと多く利用しているものについては、現在の利用状況と希望する日数、時間を記入してください。

【認定こども園】

- 1 認定こども園（1号認定での利用）      2 認定こども園（2号・3号認定での利用）

【幼稚園】

- 3 公立幼稚園  
4 私立幼稚園  
5 幼稚園の預かり保育（通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ）

【認可保育施設】

- 6 認可保育所（0歳から5歳までの保育を行う施設）  
7 小規模保育所（保育定員が6人以上19人以下の施設で、0歳から2歳までの保育を行う）  
8 家庭的保育事業所（保育定員が5人以下の施設で、0歳から2歳までの保育を行う）  
9 事業所内保育事業所（従業員の子どもと地域の子どもを一緒に保育を行う）  
10 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）

【その他】

- 11 企業主導型保育施設      13 ファミリー・サポート・センター  
12 その他の認可外保育施設      14 児童発達支援センター、児童発達支援事業所

↓  
利用が一番多い事業の  
現在の状況と希望を記入

(1)現在の利用状況 時刻は開始と終了を24時間制で記入	(2)希望 時刻は開始と終了を24時間制で記入
週 <input type="text"/> 日・1日 <input type="text"/> 時間	週 <input type="text"/> 日・1日 <input type="text"/> 時間
( <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時 )	( <input type="text"/> 時 ~ <input type="text"/> 時 )

問8で「1. 利用している」と答えた方のみ

問8-3 現在、利用されている幼稚園や保育所等はどこにありますか。(○は1つ)

- 1 藤枝市内      2 他の市町 (                      )

問8で「1 利用している」と答えた方のみ

問8-4 平日に定期的に教育・保育事業を利用されている理由について伺います。理由として当てはまる番号に○を付けてください。(○はいくつでも)

- 1 子どもの教育や発達のため
- 2 子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している
- 3 子育て(教育を含む)をしている方が就労予定である/求職中である
- 4 子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族等を介護している
- 5 子育て(教育を含む)をしている方が病気や障がいがある
- 6 子育て(教育を含む)をしている方が学生である
- 7 その他(自由記述 )

問8で「1 利用している」と答えた方のみ

問8-5 あなたのお住まいについて、お子さんの教育・保育事業の利用の可否を理由として市外から市内へ、または市内から市外へ転居を検討したことがありますか。(○は1つ)

- 1 市外から市内へ転居した
- 2 市内から市外へ転居を検討した
- 3 検討したことはない

問8で「1 利用している」と答えた方のみ

問8-6 現在、主に利用している教育・保育事業はどのくらい満足していますか。(○は1つ)

- |             |   |     |           |
|-------------|---|-----|-----------|
| 1 大変満足している  | } | 問9へ | 4 やや不満である |
| 2 満足している    |   |     | 5 不満である   |
| 3 どちらともいえない |   |     |           |

問8で「1 利用している」かつ問8-6で「4」「5」と答えた方のみ

問8-7 主に利用している教育・保育事業に不満を感じている理由について教えてください。(○はいくつでも)

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 1 自宅から遠い        | 6 園庭がせまい            |
| 2 職場から遠い        | 7 保護者が行事に参加する機会が少ない |
| 3 保育内容・方針がよくない  | 8 保護者が行事に参加する機会が多い  |
| 4 施設からの状況提供が不十分 | 9 その他 ( )           |
| 5 施設の設備が不十分     |                     |

問8で「1 利用している」と答えた方のみ

問9 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、保育所等を休んだことがありましたか。  
そのときの対処法などをお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 父親が仕事を休んだ
- 2 母親が仕事を休んだ
- 3 親族・知人(同居者を含む)に預けた
- 4 働いていない保護者がみた
- 5 ベビーシッターを利用した
- 6 ファミリー・サポート・センターを利用した
- 7 仕方なく子どもだけで留守番させた
- 8 病気やけがで保育所等を休んだことはなかった
- 9 藤枝市の病児・病後児保育室を利用した
- 10 その他(自由記述)

問9-1へ

問10へ

) ⇒ 問9-1へ

問9で「1」～「7」「10」と答えた方のみ

問9-1 あなたは、藤枝市で「病児・病後児保育」を実施していることはご存知でしたか。  
(〇は1つ)

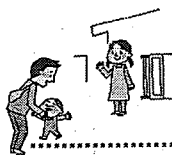
1 知っていた

2 知らなかった

問9-1で「1 知っていた」と答えた方のみ

問9-2 藤枝市の病児・病後児保育を利用しない理由は次のどれにあてはまりますか。  
(〇いくつでも)

- 1 保護者が対応することが一番だから
- 2 近くにサービスを提供する事業所がないから
- 3 利用までの手続きが煩わしいから
- 4 利用料がかかる・高いから
- 5 サービスの質に不安があるから
- 6 事業所で対応できない病気だったから
- 7 その他(自由記述)



## 平日に利用したい定期的な教育・保育事業について伺います

すべての方にお伺いします

**問 10** 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。  
また、2019年10月より、幼児教育、保育の利用料が無償化されることが検討されていますが、無償化になった場合に利用したいと考える事業も合わせてお答えください。

**【幼児教育無償化の内容】**（平成30年〇〇月時点） この内容は確定したものではありません。

- 3～5歳児の認可保育サービス、幼稚園、認定こども園の利用は全世帯無償化
- 0～2歳児の認可保育サービス、幼稚園、認定こども園の利用は住民税非課税世帯が無償化
- 認可外保育では、0～2歳児の住民税非課税世帯は42,000円/月まで、  
3～5歳児は37,000円/月まで無償化

### 【認定こども園】

- 1 認定こども園（1号認定での利用）      2 認定こども園（2号・3号認定での利用）

### 【幼稚園】

- 3 公立幼稚園  
4 私立幼稚園  
5 幼稚園の預かり保育（通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ）

### 【認可保育施設】

- 6 認可保育所（0歳から5歳までの保育を行う施設）  
7 小規模保育所（保育定員が6人以上19人以下の施設で、0歳から2歳までの保育を行う）  
8 家庭的保育事業所（保育定員が5人以下の施設で、0歳から2歳までの保育を行う）  
9 事業所内保育事業所（従業員の子どもと地域の子どもと一緒に保育を行う）  
10 居宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもを家庭で保育する事業）

### 【その他】

- 11 企業主導型保育施設      13 ファミリー・サポート・センター  
12 その他の認可外保育施設      14 児童発達支援センター、児童発達支援事業所

	0歳の時	1歳の時	2歳の時	3歳の時	4歳の時	5歳の時
記入例		7	7	4	4	4
希望						
無償化した場合						

すべての方に

問 11 あなたは、藤枝市に隣接する市町等、市外の保育所等を利用したいですか。(○は1つ)

- 1 隣接する市町等保育所を利用したい (自治体名  市・町)
- 2 藤枝市内の保育所や認定こども園でよい

すべての方に

問 12 あて名のお子さんが病気やけがの際の対応として、あなたが考える対応の優先順位(第2位まで)の番号を回答欄にご記入ください。

- 1 仕事を休むなりして親が対応する
- 2 祖父母等の親族に預けて対応する
- 3 友人・知人に預けて対応する
- 4 病児・病後児の保育サービスを利用する
- 5 ベビーシッターを利用する
- 6 ファミリー・サポート・センターを利用する
- 7 その他(自由記述 )

第1優先	第2優先
<input type="text"/>	<input type="text"/>



### 休日に定期的に利用したい教育・保育事業について伺います

問 13 “土曜日、日曜日、祝日”の定期的な教育・保育事業の利用希望について、利用したい時間帯をお答えください(一時的な利用は除きます)。現在の利用の有無に関係なく、また実際に利用可能な時間帯に関係なくお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1) 土曜日

(1つに○)	(2)利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入(例:9時~17時)
1 利用する必要はない	<input type="text"/> 時~ <input type="text"/> 時まで
2 ほぼ毎週利用したい	
3 月1~2回利用したい	

(2) 日曜日、祝日

(1つに○)	(2)利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入(例:9時~17時)
1 利用する必要はない	<input type="text"/> 時~ <input type="text"/> 時まで
2 ほぼ毎週利用したい	
3 月1~2回利用したい	

「3」に○をつけた方は  
問 13-1 へ

問 13 で「3 月に 1～2 回利用したい」と答えた方のみ

問 13-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要なため
4. その他(自由記述 )

「幼稚園」に通園している方にお伺いします。

問 14 あて名のお子さんの夏休み・冬休み等長期の休暇期間中の幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい理由と時間帯をお答えください

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)利用希望 (1つに〇)	(2)利用したい理由 (あてはまるものすべてに〇)	(3)利用したい時間帯 開始と終了の時刻を 24時間制で記入 (例:9時～17時)
1 利用する必要はない		
2 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	1 保護者の仕事のため 2 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3 親族の介護や手伝いが必要なため	<div style="text-align: center;"> <input type="text"/> 時～<input type="text"/> 時                      まで                 </div>
3 休みの期間中、週に数日利用したい	4 息抜きのため 5 その他( )	



## お子さんの地域子育て支援事業の利用について伺います

問 15 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援事業を利用していますか。(〇は1つ)  
また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を( )内に数字を記入してください。

※幼稚園や保育所等で、親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場で、「子育て支援センターやちびっコルーム」等が該当します。

- 1 利用している  
⇒ 1 週当たり ( ) 回 もしくは 1 か月当たり ( ) 回程度
- 2 利用していない



問 16 上記のような地域子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)  
また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を( )内に数字を記入してください。

- 1 利用していないが、今後利用したい  
⇒1週当たり( )回、もしくは、1か月当たり( )回程度
- 2 すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい  
⇒1週当たり( )回、もしくは、1か月当たり( )回程度
- 3 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(A～Cのそれぞれに○は1つ)

	A		B		C		
	知っている	知っている	これまでに利用したことがある	これまでに利用したことがある	今後利用したい	今後利用したい	
子育て支援事業	①育児サポーター派遣事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	②乳幼児健康相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	③ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	④子育て優待カード	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑤子育てガイドブック	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑥子育てコンシェルジュ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑦子育てカウンセリング	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑧ママフレ藤枝アプリ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑨子育て支援施設 PR 動画	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑩多子世帯子育て応援事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑪子育てフェスタ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
施設	⑫あかちゃん駅	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑬藤枝おやこ館	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
	⑭れんげじスマイルホール “キッズパーク”	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ



## お子さんの不定期の幼稚園・保育所等の利用や 宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います

問 18 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。  
(○はいくつでも)1年間のおおよその利用日数も( )内に数字でご記入ください。

利用している事業 (複数回答可)	利用日数 (年間)
1 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業)	( ) 日
2 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	( ) 日
3 ファミリー・サポート・センター事業 (地域住民が子どもを預かる事業)	( ) 日
4 ベビーシッター	( ) 日
5 その他(自由記述 )	( ) 日
6 利用していない	( ) 日

問 19 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。(○はいくつでも)  
必要な日数も( )内に数字でご記入ください。

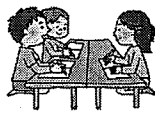
※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 1 利用したい (ア～エに○)      2 利用する必要はない

利用してしたい目的 (複数回答可)	希望日数 (年間)
ア 私用 (買物、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の習い事等)、 リフレッシュ目的	( ) 日
イ 冠婚葬祭、学校行事、子ども (兄弟姉妹を含む) や親の通 院 等	( ) 日
ウ 不定期の就労	( ) 日
エ その他(自由記述 )	( ) 日

問 20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。(○はいくつでも)それぞれ日数も( )内に数字でご記入ください。

有無 (○は1つ)	1年間の対処方法(複数回答可)	日数(年間)
1 あった	ア 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	( )泊
	イ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	( )泊
	ウ 仕方なく子どもを同行させた	( )泊
	エ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	( )泊
	オ その他(自由記述 )	( )泊
2 なかった		



**あて名のお子さんが5歳以上である方  
小学校就学後の放課後の過ごし方についてお伺いします**

問 21 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)それぞれ○をつけた項目の週当たりの日数も( )内に数字でご記入ください。

**【小学1年生から小学3年生までの過ごし方】**

(1)利用したい預かりサービス (○はいくつでも)	(2)利用希望日数 (数字を記入)
1 放課後児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい
⇒小学 <input type="text"/> 年生まで利用したい	
2 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
3 自宅(祖父母や知人宅を含む)	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事(ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾等)	週 <input type="text"/> 日くらい
5 地区交流センター	週 <input type="text"/> 日くらい
6 その他(公園、外遊びなど)	週 <input type="text"/> 日くらい

【小学4年生から小学6年生までの過ごし方】

(1)利用したい預かりサービス (○にいくつでも)	(2)利用希望日数 (数字を記入)
1 放課後児童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい
⇒小学 <input type="text"/> 年生まで利用したい	
2 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
3 自宅（祖父母や知人宅を含む。）	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事（ピアノ教室、スポーツ少年団、学習塾等）	週 <input type="text"/> 日くらい
5 地区交流センター	週 <input type="text"/> 日くらい
6 その他（公園、外遊びなど）	週 <input type="text"/> 日くらい

問 22 あて名のお子さんについて、放課後児童クラブの利用希望についてお伺いします。それぞれ、AからCの項目で該当する項目に○を付けてください。（○はいくつでも）  
それぞれ○をつけた項目ごとに希望する時間帯を（ : ）内に記入してください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	利用希望	利用したい時間帯
<b>A</b> 土曜日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）の間は利用したい 3. 利用する必要ない	（ : ）～（ : ）
<b>B</b> 日曜日、祝日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）の間は利用したい 3 利用する必要ない	（ : ）～（ : ）
<b>C</b> 長期休暇 (夏休み、冬休み等)	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）の間は利用したい 3 利用する必要ない	（ : ）～（ : ）



すべての方にお伺いします。

育児休業や短時間勤務制度等、職場の両立支援制度についてお伺いします

問 23 あて名のお子さんが生まれたときの育児休業の取得について、父母それぞれに対してお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

【育児休業制度】

- 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われない等一定の要件を満たす場合は1歳6月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み
- 子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み

【短時間勤務制度】

- 3歳に満たない子どもを養育する労働者が利用できる時短制度

	父	母
1 就労していなかった	1	1
2 取得中である	2	2
3 取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した	3	3
4 取得後に職場復帰したが、短時間勤務制度を利用しなかった	4	4
5 育児休業取得中に離職した	5	5
6 取得していない	6	6

問 24 へ

⇒問 23-1 へ

⇒問 23-2 へ

⇒問 23-3 へ

問 23 で父母どちらかが「4」と答えた方のみ

問 23-1 その方が短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 職場復帰後に退職したので、利用の必要がなかった
- 2 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、利用の必要がなかった
- 3 職場に制度を利用しにくい雰囲気があった
- 4 仕事が忙しかった
- 5 職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 6 制度を利用できることを知らなかった
- 7 その他(自由記述 )

問 23 で父母どちらかが「5」と答えた方のみ

問 23-2 その方が離職した理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 保育施設等を確実に利用できる見込みがなかった
- 2 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整っていなかった
- 3 制度の有無などに関係なく、出産後は仕事を辞めるつもりだった
- 4 その他(自由記述 )

問 23 で父母どちらかが「6」と答えた方のみ

問 23-3 その方が育児休業制度を利用しなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2 (産前産後休業後に) 仕事に早く復帰したかった
- 3 仕事に戻るのが難しそうだった
- 4 仕事が忙しかった
- 5 保育所等に預けることができた
- 6 制度を利用できることを知らなかった
- 7 配偶者が育児休業制度を利用した
- 8 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 9 子育てや家事に専念するため退職した
- 10 職場に制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 11 その他(自由記述 )



## 子育て全般についてお伺いします

問 24 あなたは近所や地域の人とのつきあいはどの程度ですか。(〇はいくつでも)

- 1 あいさつする程度
- 2 時々立ち話をする
- 3 家へ上がって話をする
- 4 食事に行ったり、家族ぐるみでつき合っている
- 5 困っているときに相談したり助け合ったりしている
- 6 ほとんどつきあいはない

問 25 あなたは、藤枝市で子育てをされていて、地域で支えられていると感じますか。  
(〇は1つ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1 とても感じる    | 4 あまり感じない  |
| 2 たまに感じる    | 5 まったく感じない |
| 3 どちらともいえない |            |

問 26 あなたは、子育てがしやすいまちの要素として、地域のつながり(ネットワークや団体)は必要だと思いますか。(〇は1つ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 大いに必要である   | 4 あまり必要ではない |
| 2 ある程度は必要である | 5 必要ではない    |
| 3 どちらともいえない  |             |

問 27 あなたは、あて名のお子さんが進学する際に感じる(感じた)不安はありますか。  
(〇は1つ)

- 1 他人とのコミュニケーションがとれるか
- 2 先生の話聞いてもらえるか
- 3 体力がついていくか
- 4 生活習慣がくずれないか
- 5 特にない
- 6 その他(自由記述)

問 28 藤枝市の子育て施策について、あなたの感じる「満足度」と「重要度」をお答えください。  
 (○はそれぞれ1つずつ)

<満足度>

	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
1 利用者支援に関する事業 (子育てコンシェルジュ)	1	2	3	4	5
2 地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター)	1	2	3	4	5
3 妊婦に対しての健康診査を実施する事業	1	2	3	4	5
4 乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	1	2	3	4	5
5 育児サポーター派遣事業	1	2	3	4	5
6 子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	1	2	3	4	5
7 保育所における一時預かり事業	1	2	3	4	5
8 保育所における時間外保育事業 (延長保育事業)	1	2	3	4	5
9 病児保育事業	1	2	3	4	5
10 病後児保育事業	1	2	3	4	5

<重要度>

	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
1 利用者支援に関する事業 (子育てコンシェルジュ)	1	2	3	4	5
2 地域子育て支援拠点事業 (地域子育て支援センター)	1	2	3	4	5
3 妊婦に対しての健康診査を実施する事業	1	2	3	4	5
4 乳児家庭全戸訪問事業 (こんにちは赤ちゃん事業)	1	2	3	4	5
5 育児サポーター派遣事業	1	2	3	4	5
6 子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	1	2	3	4	5
7 保育所における一時預かり事業	1	2	3	4	5
8 保育所における時間外保育事業 (延長保育事業)	1	2	3	4	5
9 病児保育事業	1	2	3	4	5
10 病後児保育事業	1	2	3	4	5



最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。


長時間、調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。この調査結果は、今後の本市の子ども・子育て支援事業計画の策定時のデータとして、有効に活用させていただきます。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、〇月〇日(〇)までに郵便ポストにご投函ください。

**なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。**

平成25年度に実施した  
子ども・子育て支援事業計画作成に係るニーズ調査内容

No.	設問	選択肢 (記載をする内容)
<b>1 住まいについて</b>		
1	住んでいる小学校区	(学校名)
<b>2 家族状況について</b>		
2	アンケートの回答者	父親 母親 その他
3	アンケート対象児の生年月	(生年月)
4	アンケート対象児の兄弟姉妹の数と年齢	(兄弟姉妹の数と年齢)
5	アンケート対象児と同居の者	父 母 祖父 祖母 その他
6	アンケート対象児の日中の保育者	主に父 主に母 主に祖父 主に祖母 その他
<b>3 現在の子育て環境について</b>		
7	子どもの面倒を見てくれる人はいるか	祖父母 親戚 友人・知人 いない
7-1	祖父母等の親族に見てもらっている状況	安心 大きく心配 少し心配 負担を掛け心苦しい
7-2	友人・知人に見てもらっている状況	安心 大きく心配 少し心配 負担を掛け心苦しい
8	気軽に相談できる人はいるか	親 兄弟姉妹 友人 保育所等職員 民生委員 医師 いない
9	身近にどのような場所や活動があると良いか	悩みを気軽に相談できるような場所 親同士の仲間づくりを支援してくれる場所 しつけ方を教えてくれる場所 同年代の子ども同士が交流できる場所 世代間交流ができる場所 子どもの遊びを教えてくれる場所 不意の外出の時に子どもを預かってくれる場所 ちょっとした休憩やオムツ換えができる場所 子育て家庭の家事を支援する活動 交通安全や犯罪防止のためのパトロールをする活動 公園などの花壇や樹木の管理、清掃等の美化活動
<b>4 保護者の就労状況</b>		
10	現在は仕事をしているか (父母)	フルタイム就労 パート・アルバイト 就労育休中 無職
	就労の場合における勤務時間等の状況	(1週間当たりの時間) (出勤時間) (帰宅時間)
10-2	転職等希望の有無 (父母)	フルタイムへ 転職希望なし 仕事をやめて子育てに専念
10-3	就労への意欲 (就労していない人)	子育てに専念したい 一番下の子が〇歳になったら就労したい すぐにでも就労したい 1年以内に就労したい
<b>5 幼児教育、保育事業の利用状況</b>		
11	定期的な幼児教育・保育事業の利用	利用している 利用していない
11-1	入園している施設類型	幼稚園 保育所 認定こども園 認可外保育所
11-2	利用時間 (現状)	(1日あたりの希望時間)
	利用時間 (希望)	(1日あたりの希望時間)
11-3	利用している施設の所在地	藤枝市内 他の市町
11-4	利用する理由	子どもの教育や発達のため 就労しているため 就労予定であるため 家族などを介護しているため 病気や障がいがあるため その他
11-5	利用していない理由	利用する必要がない 祖父母や親戚の人が見ている 友人・知人が見ている 利用したいが空きがない 経済的な理由で利用できない その他
12	定期的に利用したい事業	幼稚園 幼稚園の預かり保育 認可保育所 認定こども園 小規模保育所 家庭的保育事業 事業所内保育事業 認可外保育所 ベビーシッター ファミリーサポートセンター事業 その他
13	幼児教育・保育事業を利用したい場所	藤枝市内 他の市町村

No.	設問	選択肢（記載をする内容）
6 地域子育て支援事業の利用状況について		
14	子育て支援センターの利用 利用している場合の利用回数・頻度	利用している 利用していない ( ) / 回 ( ) 回 / 月
15	子育て支援センターの利用についての考え	今後利用したい 利用回数を増やしたい 変わらず
16	子育て支援事業で知っている事業	あかちゃん駅 育児センター派遣事業 藤枝おやこ館 乳幼児健康相談 ファミリーサポートセンター事業 子育てフェスタ 子育て優待カード 子育てガイドブック 子育てフェア
7 土・日曜日、休日や長期休暇中の定期的な保育所等の利用について		
17	土日祝日の保育所等の利用希望	利用する必要なし 利用したい ⇒ 毎週 1～2回 / 月 〃 ⇒ 利用したい時間帯
17-1	土日祝日に保育所等を利用したい理由	月数回の仕事 仕事ではない用事 親族の介護
18	幼稚園通園者 長期休業中の幼稚園利用	必要なし 毎日利用したい 数日利用したい
8 子どもが病気の際の対応について		
19	病気等で幼稚園等が利用できないことがあったか	あった なかった
19-1	利用できなかったときどうしたか	父親が仕事を休んだ 母親が仕事を休んだ 親族にみてもらった 就労していない父又は母が見た 病児・病後児保育事業を利用した ベビーシッターを利用した 仕方なく子どもだけにしてしまった
19-2	父又は母が仕事を休んだ際、病児・病後児保育事業を利用したいと思ったか	できれば利用したいと思った 利用したいとは思わなかった
19-3	病児・病後児保育事業を利用したと思わなかった理由	病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 利用の仕方がわからなかった 利用料がかかる 利便性がよくない
9 不定期の保育所等の利用や宿泊を伴う一時預かり等の利用について		
20	定期的な保育以外に利用していること	一時預かり事業 幼稚園の預かり保育 ファミリーサポートセンター事業 ベビーシッター 利用していない
20-1	利用していない理由	利用する必要がない 利用したいことが地域にない 質に不安がある 利便性が悪い 利用料がかかる 利用料がわからない 利用できるかわからない
21	一時預かり事業等の利用希望 利用したい場合の理由及び希望日数	利用したい 利用する必要なし 私用・リフレッシュ 冠婚葬祭・学校行事 親の通院
22	泊りがけでみてもらうことはあったか あった場合、誰にみてもらったか	あった なかった 親族・知人 認可外保育所 子どもだけで留守番
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について		
23	放課後の時間をどのように過ごさせたいか	自宅 祖父母や友人・知人宅 習い事 放課後児童クラブ 公民館 その他
23-1	放課後児童クラブを利用しないという理由	就労していない 下校に合わせて仕事が終わる 習い事をしている 子どもだけで大丈夫だと思う 利用料がかかる その他
24	高学年になったら放課後をどのように過ごさせたいか	自宅 祖父母や友人・知人宅 習い事 放課後児童クラブ 公民館 その他
24-1	放課後児童クラブを利用したい場合、何年生まで利用したいか	4年生 5年生 6年生 わからない
24-2	放課後児童クラブを利用しないという理由	就労していない 下校に合わせて仕事が終わる 習い事をしている 子どもだけで大丈夫だと思う 利用料がかかる その他

No.	設問	選択肢（記載をする内容）
25	土日祝日の放課後児童クラブの利用希望 利用したい時間帯	低学年の間 4年生まで 5年生まで 6年生まで (時間帯を記入)
26	長期の休みの間の利用希望 利用したい時間帯	低学年の間 4年生まで 5年生まで 6年生まで (時間帯を記入)
1.1 育児休業や短時間勤務制度など、職場の両立支援制度について		
27	育児休業等の制度について	育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた 育児休業給付のみ知っていた 保険料免除のみ知っていた いずれも知らなかった
28	育児休業の取得について 取得しなかった理由	取得した 取得していない 働いていない 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 仕事が忙しかった 産休後、仕事に早く復帰したかった 仕事に戻るのが難しそうだった 昇給・昇格などが遅れそうだった 収入減となり、経済的に苦しくなる 保育所などに預けることができた 配偶者が育児休業制度を利用した 配偶者が無職など、制度を利用する必要がなかった 子育てに専念するため退職した 職場に育児休業の制度が無かった 育児休業を取得できることを知らなかった その他
28-1	育児休業を取得した後の状況	職場に復帰した 育児休業中に離職した
	育児休業取得後、職場に復帰した際の状況	希望より早く復帰した 遅く復帰した 希望どおり
	希望どおり復帰しなかった理由	希望する保育所に入る 配偶者等の希望があった 経済的に早く復帰する必要があった 人事異動や業務の節目の時期に合わせる
28-2	短時間勤務制度の利用	利用した 利用する必要なし 利用できなかった
1.2 子育て環境や支援に関する満足度について		
29	子育てに関する満足度・楽しさ・大変さ	(5段階評価)
30	子育てする上で、周囲からのサポート	(自由記述)
31	幼児教育・保育環境の充実等への意見	(自由記述)

# 地域型保育事業所の認可について

## 1 地域型保育事業とは

子ども・子育て支援新制度において創設された制度で、3歳未満児を主に保育をする利用定員が19人以下の施設・事業である。

ただし、事業所内保育事業は、利用定員の上限はない。

認可基準は、「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、市が認可する。

### ※施設設備・職員配置基準

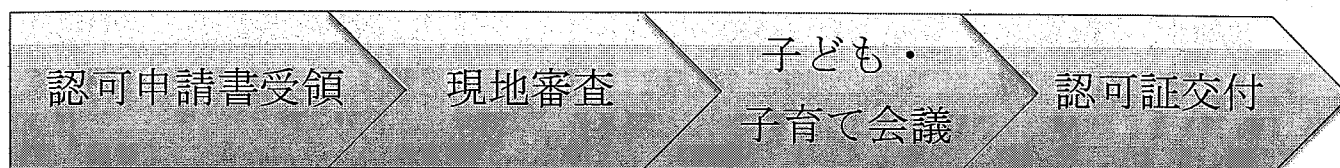
事業名	定員	保育従事者資格	職員配置 (乳幼児：保育従事者)	面積基準 (乳幼児一人あたりの面積)
家庭的保育事業	5人以下	家庭的保育者	0～2歳 3：1	0～2歳 3.3㎡以上
小規模保育事業A型	6人以上 19人以下	保育士	0歳 3：1 1～2歳 6：1	0～1歳 3.3㎡以上 2歳 1.98㎡以上
小規模保育事業B型	6人以上 19人以下	保育士1/2以上	0歳 3：1 1～2歳 6：1	0～1歳 3.3㎡以上 2歳 1.98㎡以上
小規模保育事業C型	6人以上 10人以下	家庭的保育者	0～2歳 3：1	0～2歳 3.3㎡以上
居宅訪問型保育事業	1人	家庭的保育者	0～2歳 1：1	基準なし (乳幼児の家庭で保育するため)
事業所内保育事業 (地域枠の子ども)	1人以上	保育士	0歳 3：1 1～2歳 6：1	0～1歳 3.3㎡以上 2歳 1.98㎡以上

## 2 子ども・子育て会議の役割

子ども・子育て支援法第43条第3項の規定により、市町村が地域型保育事業の確認をする際には、子ども・子育て会議において「利用定員の設定」に関して意見を聴くこととされている。

## 3 認可事務の流れ

事業者から提出された認可申請書類を基に、職員が現地審査を実施し、運営責任者への聞き取り調査及び設備基準・職員配置を確認する。



## 4 認可協議

### (1) 認可予定施設の概要

No.	申請者	施設名称	施設類型	所在地	利用定員			
					3号認定			
					0歳	1歳	2歳	計
1	(株)フリースタイルコーポレーション 代表取締役 望月保宏	キッズルーム・ リトルハッピー	保育所型 事業所内 保育事業	高洲 5-7	3人 (3人)	8人 (8人)	13人 (8人)	24人 (19人)

#### 【目的・効果】

事業所内保育事業へ移行することにより、当該施設の保育定員の拡大を図るとともに、年度後半の保育需要の増大に対応する。

※( )の数字は、小規模保育A型(H28.4~H30.9)での認可定員

### (2) 面積基準、職員配置基準

施設名称	面積基準適合状況		保育士配置基準適合状況	
	必要面積	市確認面積	必要人員	市確認人数
キッズルーム・リトルハッピー	62.04 m <sup>2</sup>	62.76 m <sup>2</sup>	6人	6人

### (3) その他運営基準

施設名称	連携施設の 有無	食事の 提供方法	重要事項説明 書及び運営規 程の有無	緊急対応マニ ュアル等の有無	第3者委員の 選任の有無
キッズルーム・リトルハッピー	有	自園調理	有	有	有

※連携施設の役割・・・小規模保育所の卒園後の受け皿、屋外遊具の利用、幼児教育・保育の情報提供  
緊急対応マニュアル等・・・不審者・侵入者、火災・大地震、事故発生時、苦情解決、虐待防止  
第3者委員の役割・・・苦情に対する第2の窓口、解決

### (4) 利用定員設定に関する基礎データ

#### ①保育ニーズと保育の受け皿（供給量）

##### ア 南部地区（高洲・大洲）

・0歳児 想定ニーズ量：64人 供給量：41人 不足23人  
・1・2歳児 想定ニーズ量：232人 供給量：160人 不足72人

##### イ H30年度整備量（拡大量）

・0歳児 9人  
・1・2歳児 45人

#### 〔内訳〕

わかばみや保育園 0歳:6人 1歳:12人 2歳:12人 3歳:14人 4歳:14人 5歳:14人

チャイルドルームリ-高洲園 0歳:3人 1歳:8人 2歳:8人

キッズルーム・リトルハッピー 0歳:- 1歳:- 2歳:5人

#### ②必要面積（最低基準）

0歳児 3.30 m<sup>2</sup> × 3人 = 9.90 m<sup>2</sup>  
1歳児 3.30 m<sup>2</sup> × 8人 = 26.40 m<sup>2</sup>  
2歳児 1.98 m<sup>2</sup> × 13人 = 25.74 m<sup>2</sup>  
計 62.04 m<sup>2</sup>

#### ③実有効面積 62.76 m<sup>2</sup>

## 5 認可変更協議

### (1) 変更予定施設の概要

No.	申請者	施設名称	保育定員	施設類型	所在地
1	森田 敦子	リトルリリー保育室	3人	家庭的保育事業	音羽町1-4-18

### (2) 変更内容

施設名称	利用定員				→	利用定員			
	3号認定					3号認定			
	0歳	1歳	2歳	計		0歳	1歳	2歳	計
リトルリリー保育室	0人	1人	2人	3人		1人	2人	2人	5人

#### 【目的・効果】

0歳児の保育ニーズに対して、家庭的保育者による手厚い保育が好評であることから、家庭的保育者の増員を図り、年度後半の保育需要の増大に対応する。

### (3) 面積基準、職員配置基準

施設名称	面積基準適合状況		保育士配置基準適合状況	
	必要面積	市確認面積	必要人員	市確認人数
リトルリリー保育室	16.50 m <sup>2</sup>	42.29 m <sup>2</sup>	家庭的保育者 1人 家庭的保育補助者 1人	家庭的保育者 1人 家庭的保育補助者 1人

### (4) 利用定員設定に関する基礎データ

#### ① 保育ニーズと保育の受け皿（供給量）

##### ア 中部地区（藤枝・西益津・瀬戸谷・稲葉）

・0歳児 想定ニーズ量：61人 供給量：47人 不足14人  
 ・1・2歳児 想定ニーズ量：161人 供給量：143人 不足18人

##### イ H30年度整備量（拡大量）

・0歳児 7人  
 ・1・2歳児 19人

#### 〔内訳〕

いなばこども園 0歳:6人 1歳:9人 2歳:9人 3歳:10人 4歳:10人 5歳:10人  
 リトルリリー保育室 0歳:1人 1歳:1人 2歳:-

#### ② 必要面積（最低基準）

0歳児 3.30 m<sup>2</sup> × 1人 = 3.30 m<sup>2</sup>  
 1歳児 3.30 m<sup>2</sup> × 2人 = 6.60 m<sup>2</sup>  
 2歳児 3.30 m<sup>2</sup> × 2人 = 6.60 m<sup>2</sup>  
 計 16.50 m<sup>2</sup>

#### ③ 実有効面積 42.29 m<sup>2</sup>

協議事項に係る藤枝市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例抜粋

(保育所等との連携)

第7条 家庭的保育事業者等(居宅訪問型保育事業を行う者(以下「居宅訪問型保育事業者」という。)を除く。以下この条、次条第1項、第15条第1項及び第2項、第16条第1項、第2項及び第5項、第17条並びに第18条第1項から第3項までにおいて同じ。)は、利用乳幼児に対する保育が適正かつ確実に行われ、及び、家庭的保育事業者等による保育の提供の終了後も満3歳以上の幼児に対して必要な教育又は保育が継続的に提供されるよう、次に掲げる事項に係る連携協力を行う保育所、幼稚園又は認定こども園(以下「連携施設」という。)を適切に確保しなければならない。

- (1) 利用乳幼児に集団保育を体験させるための機会の設定、保育の適切な提供に必要な家庭的保育事業者等に対する相談、助言その他の保育の内容に関する支援を行うこと。
- (2) 必要に応じて、代替保育を提供すること。
- (3) 当該家庭的保育事業者等により保育の提供を受けていた利用乳幼児(事業所内保育事業の利用乳幼児にあっては、第43条に規定するその他の乳児又は幼児に限る。以下この号において同じ。)を、当該保育の提供の終了に際して、当該利用乳幼児に係る保護者の希望に基づき、引き続き当該連携施設において受け入れて教育又は保育を提供すること。

(食事)

第16条 家庭的保育事業者等は、利用乳幼児に食事を提供するときは、家庭的保育事業所等内で調理する方法(第11条の規定により、当該家庭的保育事業所等の調理設備又は調理室を兼ねている他の社会福祉施設等の調理室において調理する方法を含む。)により行わなければならない。

- 2 家庭的保育事業者等は、利用乳幼児に食事を提供するときは、その献立は、できる限り、変化に富み、利用乳幼児の健全な発育に必要な栄養量を含有するものでなければならない。
- 3 食事は、前項の規定によるほか、食品の種類及び調理方法について栄養並びに利用乳幼児の身体的状況及び嗜好を考慮したものでなければならない。
- 4 調理は、あらかじめ作成された献立に従って行わなければならない。
- 5 家庭的保育事業者等は、利用乳幼児の健康な生活の基本としての食を営む力の育成に努めなければならない。

(家庭的保育事業所等内部の規程)

第19条 家庭的保育事業者等は、次に掲げる事業の運営についての重要事項に関する規程を定めておかなければならない。

- (1) 事業の目的及び運営の方針
- (2) 提供する保育の内容
- (3) 職員の職種、員数及び職務の内容
- (4) 保育の提供を行う日及び時間並びに提供を行わない日
- (5) 保護者から受領する費用の種類、支払を求める理由及びその額
- (6) 乳児及び幼児の区分ごとの利用定員
- (7) 家庭的保育事業等の利用の開始及び終了に関する事項並びに利用に当たっての留意事項
- (8) 緊急時等における対応方法
- (9) 非常災害対策
- (10) 虐待の防止のための措置に関する事項
- (11) その他家庭的保育事業等の運営に関する重要事項

(家庭的保育事業における職員)

第24条 家庭的保育事業を行う場所には、次項に規定する家庭的保育者、嘱託医及び調理員を置かなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合には、調理員を置かないことができる。

(中略)

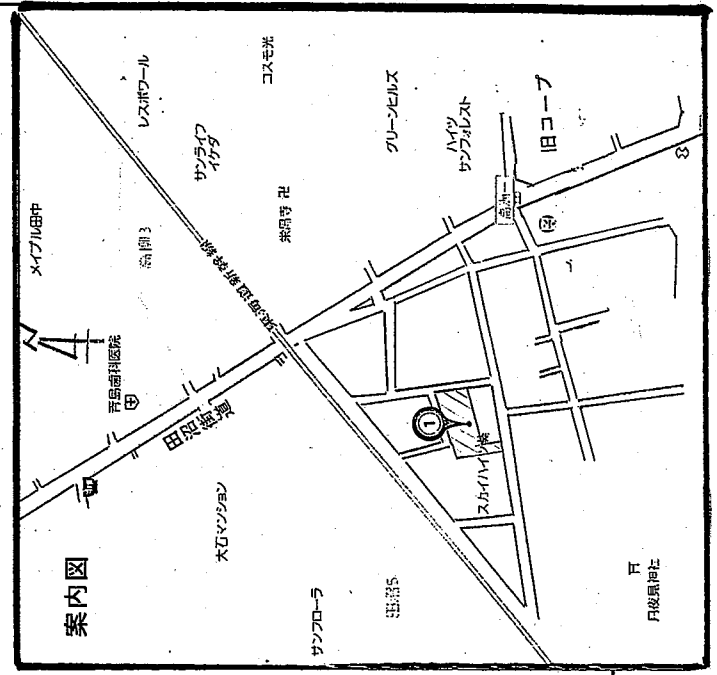
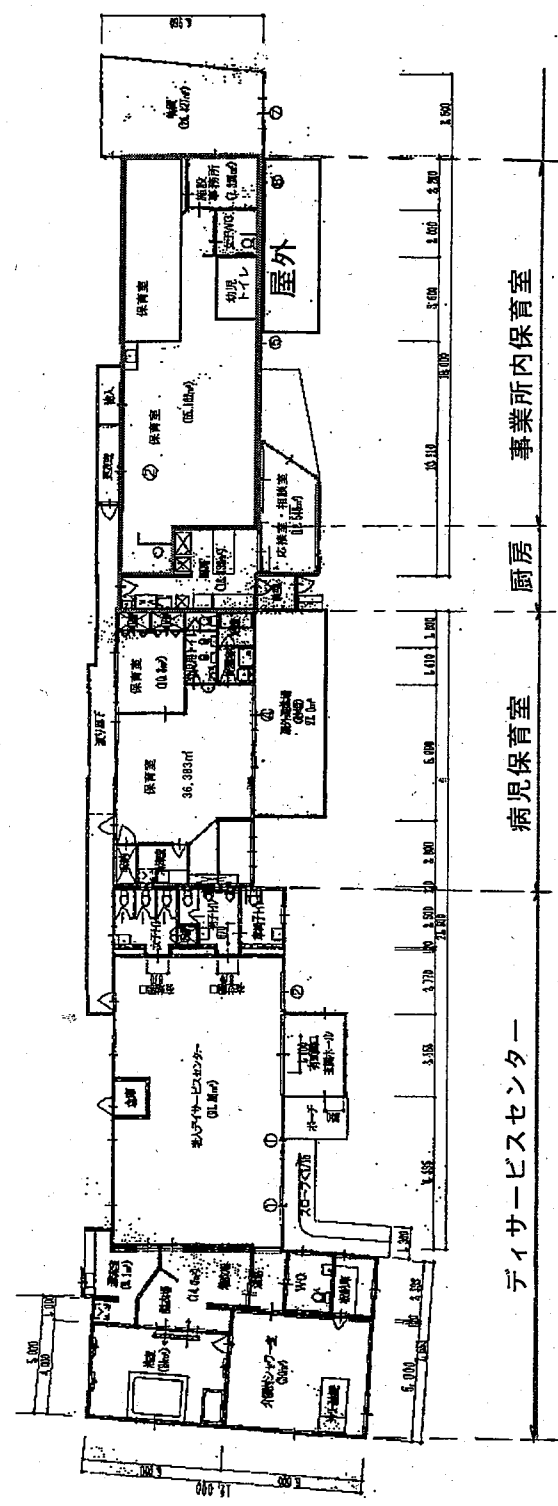
- 2 家庭的保育者は、市長が行う研修(市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。)を修了した保育士又は保育士と同等以上の知識及び経験を有すると市長が認める者であって、次の各号のいずれにも該当する者とする。

(中略)

- 3 家庭的保育者1人が保育することができる乳幼児の数は、3人以下とする。ただし、家庭的保育者が家庭的保育補助者(市長が行う研修(市長が指定する都道府県知事その他の機関が行う研修を含む。)を修了した者であって、家庭的保育者を補助するものをいう。第35条第2項において同じ。)とともに保育する場合には、5人以下とする。



# キッズルームリトルハッピー及び病児保育室配置図



縮尺 S=1:100

## 病児保育事業の拡大について

### 1 要旨

現在、藤枝市シルバー人材センター託児室で実施している病児保育を、平成 30 年 10 月から「キッズルーム・リトルハッピー」でも実施します。市内 2 箇所目、駅南地区では初の実施施設となり、子どもの健全育成及び保護者の子育てと就労の両立を支援します。

### 2 概要

病児保育は、子どもの急な発熱などによって在籍する保育所などでの集団生活が困難となり、かつ保護者の就労などの理由から保護者による看護ができない時に、専用の保育室で一時的に子どもを預かるものです。

#### 【実施施設】

キッズルーム・リトルハッピー（藤枝市高洲 5-7） ※平成 30 年 10 月 1 日から

#### 【利用対象】

市内居住または、市内の保育所などに在園している未就学児童。

#### 【利用定員】

3 名

#### 【利用日】

月曜日～金曜日 9:00～17:00（祝日・12月29日～1月3日を除く）

#### 【利用料】

1日：2千円 半日：千円（現金で直接、施設に支払い）

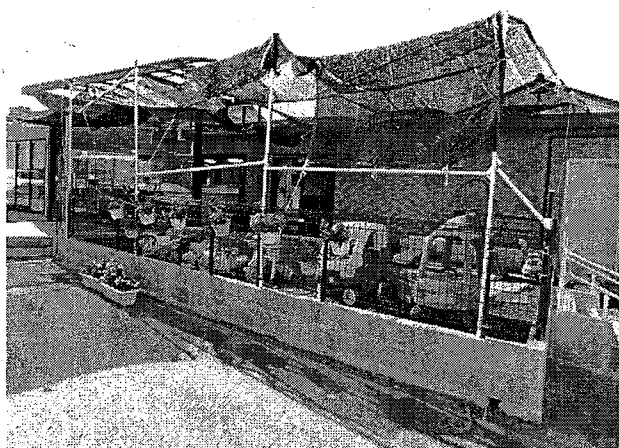
#### 【利用方法】

- ①開所時間内に電話で施設に利用状況を確認し、予約をする。
- ②医師の診断を受け、利用可能であることの証明（病児保育事業連絡票）をもらう。
- ③利用時に、申込書に証明書を添えて施設に提出する。

#### 【持ち物】

着替え一式・タオル・オムツ等 必要時：ミルク・離乳食・お弁当・おやつ等

※病中であっても、重篤な基礎疾患がある場合や特定の感染症を発症している場合は利用できません。



施設全景



通常保育の様子



第7回

笑顔いっぱい

# 子育てフェスタ 藤枝

～みんなで子育て 里山で遊ぼう!!～



2018  
**9.8 SAT**  
9:30-12:00  
小雨決行 台風などにより中止になる場合があります  
藤の瀬会館  
藤枝市本郷876

入場無料

## 親子コンサート

★10:00～10:30 ほこほこぼんだ  
★11:15～11:55 エコモーション

## としょかんおはなしかい

★9:30～9:50 ★10:40～11:00

## 手づくりロケット・カスターネット

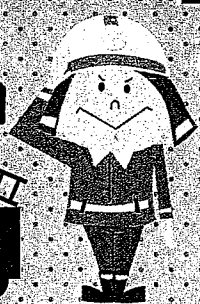
※無くなり次第終了

## 飲食・物販コーナー

〈出店〉瀬戸谷コロッケの会、エピスリー芒種  
ほか地場産品の販売 ※無くなり次第終了

## はたらく車コーナー

消防車、パトカー、  
地震体験車がくるよ!!



ミニ消防士  
になれる  
フォトブースも!

※雨天時一部コーナーが行われない場合があります。

## 自然物で遊ぼう

竹ぼっくり、竹びゆんびゆんごまをつくって遊ぼう!!  
※無くなり次第終了

## まちの保健室

身体測定をしたり、看護師・助産師に気軽に相談ができます!

## 赤ちゃんコーナー

## 子育てサークル・サロンの活動紹介

## 育児・子育て情報コーナー

## ゼリー釣り

※無くなり次第終了



三井農林(株)からシャトルバスあります!

主催 藤枝市・子育てフェスタ実行委員会・藤枝市保育協会  
協力 志太広域事務組合志太消防本部、藤枝警察署、静岡県看護協会志太榛原地区支部  
お問合せ 子育て支援センターくるるん TEL:054-636-7780

# ふじえら

9

2018.Sep.VOL.02

総発行部数  
54,000部  
各戸配布 51,050部  
無料設置 2,950部



藤枝に密着した  
生活情報誌を  
毎月無料でご家庭に  
お届けします!

巻頭  
特集

# アクティブに 自分らしく生きよう!

特別企画

てくチャリフジえ散歩(岡部エリア)  
おじいちゃん・おばあちゃんへのメッセージ・シニアライフ応援・おしゃれの秋・読者プレゼント



# 藤枝市からの子育て情報



藤枝市内の子育てを応援するサービスや設備のある  
お店・施設・イベントを動画でご紹介します！

## ふじえTV

藤枝市子育て応援チャンネル

「子どもが生まれてから外に出る機会が減った」、  
「子どもが小さくてお店に行けない」とお困りの  
パパ、ママ達へ。子ども連れで行けるスポット  
を動画にてご紹介します。



ふじえTV Vol.001  
「藤接骨院」産後のママに優しいお店



ふじえTV Vol.002  
「内合三輪公園」遊具が充実している公園



ふじえTV Vol.003  
「ままギョ」楽しめる講座を8月より毎月開催



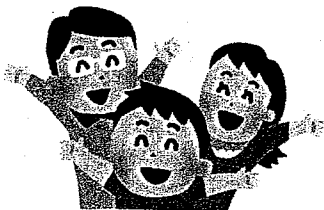
ふじえTV Vol.004  
「病児保育」お子様の急な体調不良時に

## 子育てフェスタ開催！ 遊びに来てね

「子育てフェスタ」は、市内13か所にある地域子育て支援センターの合同事業で、今年で7回目の開催となります。親子コンサートやミュージックパネルシアター、ハシゴ車・起震車体験、看護師・助産師による相談など、子育て中の親子が楽しめるイベントです。ぜひお出掛けください。

- 日程 平成30年9月8日(土)
- 時間 9:30~12:00
- 場所 藤の瀬会館(藤枝市本郷876)
- 内容 親子コンサート、自然物で遊ぼう、まちの保健室、としょかんおはなしかい、ゼリー作り、ハシゴ車・パトカー・地震体験車の展示・体験、飲食・物販コーナー等

※雨天の場合は内容を一部変更することがあります。



問い合わせ：藤枝市児童課 054-643-6611

## ご存知ですか？ 「病児保育」

子どもの急な発熱や体調不良で、保育所等での集団保育が困難な時、保護者がどうしても仕事を休めない場合もありますよね。そんな時には「病児保育」をご利用ください。専用の保育室でお子さんを一時的にお預かりします。※重篤な基礎疾患がある場合や特定の感染症を発症した場合は利用できません。

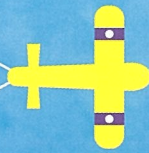
- 場所 藤枝市シルバー人材センター2階託児室
- 住所 藤枝市藤枝5-3-20
- 連絡先 054-641-5565
- 利用定員 1名~2名程度
- 利用時間 平日 午前9時から午後5時まで  
土日・祝日・年末年始は閉所
- 利用料金 1日2千円、半日千円(現金で直接施設に支払)
- 利用方法 開所日の午前9時から午後5時までに電話で予約。医師の診断を受け利用可能であることの証明(病児保育事業連絡票)をもらってください。持ち物等、詳細は予約時にご確認ください。藤枝市ホームページにも掲載しています。



問い合わせ：藤枝市児童課 054-643-3246



子育てするなら藤枝!



企業様用

# 子育てしやすい まちづくりに貢献 しませんか?

ふじえだ  
あかちゃん駅

オムツ替え、授乳ができる  
スペースを「あかちゃん駅」として登録しませんか?  
乳児を持つご家族が安心してお出かけできるようサポート  
することで、来店者数UP!  
市ホームページに「あかちゃん駅」として店舗情報を掲載します!

## 今だけ補助金

- オムツ交換台や授乳ソファ等の設置費に対し、市から補助金が出ます!(既存設備のリニューアルも対象です)
- 経費の3/4補助(上限375,000円)
- 補助金は2020年3月までの期間限定です!



あかちゃん駅一覧はこちら

子育て世帯にやさしいサービスを、藤枝市の子育て支援施設PR動画で紹介。  
お子様連れでも安心して来店できることを、動画でPRしてみませんか?  
(営業トークは控えめに…)

## 掲載は簡単!

- 撮影隊が訪問し、5分程度の短い動画を無料で撮影します。
- 子育て世帯にやさしいサービスの紹介、あかちゃん駅の場所の案内などを録画。  
従業員の皆さまもぜひご出演ください!
- 動画投稿サイト(YouTube)に無料で掲載します。

➔ <https://www.facebook.com/fujiedakosodatepr/>



動画一覧はこちら

子育て  
世帯にやさしい  
施設PR  
動画



# みんなで子育てを 応援しよう!

## 子育て マイレージ への協賛

お父さんの育児参加を応援しませんか?  
「子育てマイレージ」は、お父さんが育児参加でポイントのため、協賛店でお得なサービスを受けられる仕組みです。お父さんや家族が喜ぶサービスで、子育て世帯を応援! サービスをきっかけに、常連さんになってくれるかも…?!

### サービス内容の一例

- ドリンク1杯サービス
- 500円オフ
- 5%オフ
- 体験コースサービス

<https://fujieda-city.mamafre.jp/mileage/> ➔

子育てマイレージはこちらから



子育て中の従業員をサポートし、安心して働き続けられる職場をつくりたい! 従業員のための保育所があったら…。その思い、実現しませんか? 企業主導型保育事業の開設を支援します。

## 企業主導型 保育事業

### 市児童課に相談を

- (公財) 児童育成協会から施設整備費や運営費が補助されます。まずはホームページをチェック! ➔ <http://www.kigyounaihoiku.jp/>
- 藤枝市からも、開設時に補助金が出ます。
- 複数の事業所が共同で運営することも可能です。

連絡先

藤枝市健康福祉部児童課子育て政策係

電話 054-643-3246





藤 枝 市

# 子どもの居場所づくり

## 交流会

「こども食堂や学習支援に興味がある」  
「子どもたちの力になりたい」  
今私たちにできることを考えてみませんか？

予約制

(裏面を参照)

【日時】 ▶▶ 9月15日（土）午後2時～4時

【会場】 ▶▶ 藤枝市生涯学習センター  
1階 第一会議室

### 【内容】

- ☆実践報告 ○おいわか こども食堂
- 子ども食堂 まつぼっくり
- 亀城子屋 （学習支援）
- こども食堂 ごはんをたべる会
- 子ども食堂 はっぴい～と

☆子ども育成支援事業検討会の取組み

☆立上げや運営に係る助成金等の情報提供



## 【申込先・問い合わせ】

申込の際はFAX・電話・メールにて、参加者氏名・電話番号をお伝えください。

藤枝市子ども家庭課 家庭児童相談係(担当:中谷・樋口)

○住所 〒426-8722 藤枝市岡出山1丁目11番1号

○電話 643-7227(直通) ○FAX 643-3260(申込書をご利用ください)

○E-mail [kodomo@city.fujieda.shizuoka.jp](mailto:kodomo@city.fujieda.shizuoka.jp)

## 藤枝市子どもの居場所づくり交流会申込書 (〆切9月7日)

	参加者氏名	電話番号
1		
2		
3		
4		

※参加申込書に記入いただきました個人情報はこの交流会実施に限り、使用させていただきます。また会場は駐車台数に限りがありますので、できるだけ相乗りにてお越しください。

